



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2020th

令和3年1月29日

2月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

正解ではなく納得解を求めて

校長 鶴飼 数夫

1年で一番寒い時期を過ぎ、ほんの少しだけ空気の温みを感じられるようになりました。来週からは2月。暦の上では春の到来です。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による緊急事態宣言は、解除の見通しが立たず、学校においては、これまで以上の緊張感をもって教育活動に臨みたいと思います。ご家庭におきましても、引き続き、検温・手洗い・マスク着用、黙食、不要不急の外出自粛など、子どもたちへの感染防止の取り組みのご指導とご協力をお願いいたします。

そんな中、校内研究授業が行われ、そこでの取り組みを紹介したいと思います。最初は6年2組です。総合的な学習の時間で大切なキーワードの一つに「まちやまちの人とつながる。」があります。昨年の5月に市電保存館近くのT字交差点のところにオープンした洋菓子屋さんのご協力を得て、滝頭のまちの銘品となるような新商品の開発に着手しました。お店のパティシエさんにアドバイスをいただきながら、自分たちの思いをどのようにしてケーキに表現するか話し合いを重ねてきました。結果たどり着いたのが、写真にあるストロベリーケーキとチョコレートケーキです。上に乗っているイチゴには包丁でチューリップの花のようなカットが入れてあり、非常に手間暇がかかっています。使っている生クリームも甘さを抑えてありとても食べやすくなっています。これらの仕様については、子どもたちが話し合いで導き出した「滝頭らしさ」をもとに考えられており、「地域の方々に笑顔になってほしい」という思いが込められています。自分たちがプロデュースした商品が現実になり、もうすぐ発売されようというところまで来ました。そのあたりの過程や子どもたちの思いが、お店のインスタグラムに掲載されていますので、是非ご覧ください。上のQRコードから入ることができます。また、お店のHPもご参照ください。「パティスリーブーケ」<https://patisseriebouquet.iindofree.com>



チューリップのストロベリーケーキ

もう一つは、4年3組の取り組みです。こちらも、滝頭のまちを何度も歩き、自分たちが捉えたまちの魅力を「滝頭三十六景」というカルタで表現して、国土交通省の「景観まちづくり学習助成事業」に応募し、助成金を獲得しました。それを元手に学校の噴水池を何とかきれいにして復活させようというプロジェクトに取り組んでいます。現在は、池の外周の壁面にどんなメッセージを書いたらよいか話し合いをしています。

先の6年2組も同じく、2月19日の新商品発売日に向けてのキャッチコピーを考えているのですが、どちらのクラスもなかなか一つにまとまりません。なぜかという、候補となっているどの言葉も素晴らしく、子どもたちのまちや学校に対する熱い思いが込められていて甲乙つけられないからです。子どもたちは、一生懸命に自分の推す言葉の意味や良さを説明していきますが、なかなか合意には至りません。それもそのはず、この議論には正解がないのです。しかし、いずれは、どこかで決めなければなりません。それには、正解を求める話し合いではなく、みんなが納得して合意形成できる「納得解」を探す話し合いが必要になります。大切なのは、結果ではなくその話し合いの過程にあります。このような話し合いを積み重ねることによって、相手の立場や考え方を十分に聞き入れながら自分の考えを修正してお互いに歩み寄る力を身に付けていくことができます。総合的な学習の時間の肝がここにあるのです。

テストの点数や数値化された指標のみで量ることのできない「学力」が「生きる力」となって、やがて、よりよい社会を形成する市民を育てることになるのです。